

令和3年度 入学式学長式辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

また、本日の慶びにいたる道のりを支え、励まし、導いてこられた御家族の皆様にも、本学の教職員を代表して心からお祝いを申し上げます。

本来であれば、平素より本学の教育に格段のご配慮を賜っております医療機関の多数のご来賓の皆様とともにこの入学式を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の対策により簡素化し実施しています。この一年で日常生活が一変し、本学も新型コロナウイルス感染症の日々の状況をみながら様々な感染予防の対応・対策を行っております。今、蔓延している新型コロナウイルス感染症に、全力で最善を尽くし感染予防や診療に従事し地域医療を支えている医療従事者の皆様に心から敬意を表します。

世界中がこのような状況であるからこそ、医療専門職を目指し将来性豊かな新入生の皆さんや、より高度な看護実践者や教育研究者、保健師、助産師を目指す志をお持ちの大学院入学生をお迎えし、今日のおよき日に、入学式を挙げていただけますことは、本学にとってこの上ない喜びであります。

2019年に岐阜保健大学看護学部が開学しました。2021年4月、リハビリテーション学部（理学療法学科・作業療法学科）、及び岐阜保健大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程（看護学研究コース・保健師コース・助産師コース）が開設し、岐阜保健大学医療専門学校スポーツ健康学科（はり・きゅう科、柔道整復科）を含め、新しい医療総合大学へと発展します。

本学の建学の精神は、「命と向き合う心、知識、技をもった地域医療に貢献する医療人の養成」です。リハビリテーション学部、大学院看護学研究科開設とともに新たに着任する教員を含め、教職員が一丸となり、地域医療の未来を切り開いていくための、さらに、この令和時代を担う医療人の育成、教育・研究に邁進していくことが本学の使命であります。

新入生の皆さんは、今、喜びと期待で満ちあふれていることと思います。皆さんは受験勉強を経て、今日の日を迎えていることと思います。これまでは他者との競争であったと思いますが、これからの競争相手は他者でなく自分自身となります。いかにして自らの医療人としての人間力を高め、医療に関す

る高い能力を備えた医療専門職を目指し自分自身を向上していくということが重要となります。

医療専門職はやりがいのある尊い仕事ですが「人の命」に直接携わる大変厳しい職業でもあります。本学の教育は、医療専門職として、豊かな人間性をもった医療人の育成を目指しております。皆さんには、この学び舎で、医療人としての心を鍛えていただきたいと思います。さらに医療に関する学問を究めるには、純粋な知的好奇心が必要です。

我が国の医療技術の進歩はめざましく、特に臓器移植医療、生殖医療、再生医療、遺伝子を用いた先進的治療の進歩は著しいものがあります。その一方で、急激な高齢化、少子化による地域医療、救急医療の体制の強化が求められています。さらに癌や心疾患をはじめとした生活習慣病の予防、今後も起きうる新たな感染症への対策や災害時の医療体制など様々な課題があります。医療専門職を目指す皆さんが、技術の進歩や社会の変化に応じて、医療人として社会で活躍するためには常に知的好奇心を持ち学び続けることが重要です。

まずは、夢を叶える第一歩を踏み出そうとしている自分に自信を持ってください。そして未来への覚悟を新たにしてください。今日から、勉学に勤しみ、夢を実現させてください。それぞれの医療専門職として社会へと旅立って行かれることを期待しています。しかし、時に壁にぶつかり、或いは挫けそうになることもあろうかと思えます。今日の自分への自信と未来への覚悟という初心に立ち還ることで、必ず乗り越えられるものと信じております。同時に、このキャンパスでは、生涯を通じる仲間たちとの出会いの場でもあります。学生生活は学びだけではありません、さまざまなことに挑戦してこれからの学生生活を楽しみ、人としての幅を広げてください。

我々教職員一同は、皆さんが充実した有意義な学生生活を送られるよう、全力で支援してまいります。ご家族の祝福と期待を胸に刻み、感謝の念を持って、学生生活に、十分に励んでいただきたいと思います。本学で学んだことが生涯の宝となり、皆さんが、それぞれ看護師、理学療法士、作業療法士、看護学修士、保健師、助産師、はり・きゅう師、柔道整復師となり有終の美が飾れることを祈念し、入学式の式辞とさせていただきます。

令和3年4月2日

岐阜保健大学学長 河田美紀